

高専生・大学生・大学院生対象

冬のくらし アイデアコンテスト 発表会

日時

2024年2月29日(木)

審査員

事前応募は、専用フォームにて
2024年2月14日(水)まで



高野 伸栄
北海道大学大学院工学研究院
土木工学部門 教授



柿崎 恒美
国土交通省 北海道開発局
局長

会場

札幌市民交流プラザ
3階 クリエイティブスタジオ
(札幌市中央区北1条西1丁目)



宮口 宏夫
(株)北海道新聞社
代表取締役社長



鈴木 貴之
Creative Office CUE
タレント



倉内 公嘉
(一社)北海道開発技術センター
理事長

プログラム

時間	プログラム
13:30	会場・受付
14:00	開会(主催者挨拶・審査員紹介)
14:10~15:40	二次審査会
15:40~16:10	弦楽四重奏ミニコンサート 「弦で奏でる四季の音色」 佐藤郁子(ヴァイオリン)、富田麻衣子(ヴァイオリン) 青木晃一(ヴィオラ)、坪田亮(チェロ) ※この間審査員による最終審査を行います。
16:10~16:30	休憩・場面転換
16:30~17:00	審査結果発表・表彰式
17:00	閉会

発表内容

第五の公営競技「競雪(けいせつ)」
学校名:北海道大学大学院

幻想的な空間で個別映画館-movie in ice-
学校名:大阪大学

Snow Safety Stick
学校名:茨城工業高等専門学校

ゆきんこお野菜冬畑
学校名:北海商科大学

愉雪の巡い(ゆうせつこのうつろい)
学校名:札幌市立大学

※発表順は、くじ引きにて決定

一般社団法人北海道開発技術センターは、積雪寒冷地域特有の諸問題について、政策の提言、調査研究、計画を行い、北海道ひいては国内外の積雪寒冷地域全体の発展にも寄与することを目的とした法人で、令和5年4月1日に創立40周年を迎えました。

この40年間、北海道は昭和・平成・令和と3つの時代の変化と共に、人々の冬の暮らしも大きな変化を遂げてきました。そして、現在、少子過疎高齢化、気候変動、エネルギー、経済成長、地方創生など、我々はさまざまな課題を抱えながら、「持続可能な北海道」に向けて、新しい冬の暮らしを創造する担い手のひとりとして、その役割を期待される時代を生きています。

このような変化する時代の中で、改めて当社の社会的使命を確認し、次世代の社会の担い手とともに「北海道における持続可能な冬の暮らし」について考える機会として、令和5年7月より大学生等からアイデアを募りました。本発表会では、全国31件の応募のうち一次審査を通過した5件のアイデアを学生たち自ら発表いただくことで、これからの時代に望まれる冬の暮らしのあり方を参加者のみなさまと共有したいと思います。



特設ページはこちら

主催



一般社団法人 北海道開発技術センター

札幌市北区北11条西2丁目2-17セントラル札幌北ビル
TEL:011-738-3363 / E-mail:konishi@decnet.or.jp(担当:小西)

お問合せ先

協力 株式会社 北海道新聞社/株式会社 エフエム北海道 AIR-G'/認定NPO法人 ほっかいどう学推進フォーラム/一般社団法人 シーニックパイウェイ支援センター

後援 国土交通省 北海道開発局/北海道/札幌市